

資料

低所得高齢者の居住支援事業・

住まいのセーフティネットの仕組みづくりにかかる

調査研究事業報告会

本調査研究は平成 24年度老人保健健康増進等事業（厚生労働省）のテーマ「低所得高齢者の住宅問題に関する調査研究事業」として実施しました。

たとえ低所得者であったとしても、その支援は人間らしく・その人らしく生きがいのある支援であることが重要です。こういった観点から行われる居住支援と住まいのセーフティネットの仕組みを作っていくことは必要な取り組みと考えています。

本報告会では、地域居住の継続が困難になった高齢者への支援事例を取り上げます。私たちの地域にどのような社会的排除が潜んでいるのか、排除によって孤立した高齢者が再び参加できる地域をどのように創っていけばよいのか。「住み慣れた地域で誰もが生きがいを持って暮らせる社会」について考えていきたいと思ひます。

■ 日 時：平成 25年 **3月26日（火）16:00～18:10**

■ 会 場：フクラシア東京ステーション 6階 会議室C

■ プログラム

16:00～16:05 1. 開会挨拶 財団法人 健康・生きがい開発財団

16:05～16:45 2. 居住支援事業モデルと住まいのセーフティネットについて
株式会社 福祉開発研究所

16:45～17:15 3. 講演「埼玉県住宅ソーシャルワーク事業」
講師：埼玉県社会福祉士会 アスポート与野

17:15～17:55 4. 講演「高齢者の参加と生きがい」
講師：認定NPOじゃんけんぼん
理事長 井上謙一氏

17:55～18:10 5. 調査委員会の報告
「調査結果をとおしてみた低所得高齢者の居住問題」
調査委員会委員長：群馬医療福祉大学大学院
教授 吉田 隆幸氏

■ 主 催：財団法人健康生きがい開発財団・株式会社福祉開発研究所

■ 定 員：50名（先着順）

■ 参加費：無料

※プログラムは今後変更の可能性がひあります

※申込方法：裏面の参加申込書を FAX して頂くか、下記のメールアドレスに参加のお申し出をしてください。

※お問合せ：福祉開発研究所 担当 太田・飯田 FAX:03-6268-9029 TEL:03-6268-9028

mail: hokoku@swrc.co.jp

報告会の開催模様



報告会 会場風景



講演：竹嶋紘氏



講演：井上謙一氏



報告：(株)福祉開発研究所



報告：吉田隆幸委員長